

卓越した技術と技能で、電動機や発電機の設計から製作、改造、修理、メンテナンスまで一貫して対応。顧客へ「安全と安心を提供する」業界のトップランナー企業



絶縁診断装置

大型回転機の修理 業界No.1企業

桑原電工(株)は、1945年電動機や発電機など回転機の改造・修理を業として北九州市八幡西区で創業以来、技術重視の経営を進めながら高度な技術を蓄積してきた。現在では、電動機や発電機の設計から製作、改造、修理、メンテナンスまで一貫して対応できる回転機のプロフェッショナルとして、業容を拡大している。

特に、大型回転機のコイルの巻き替えや修理は、同社の基盤となっている事業であり、この分野においては業界No.1の実績を有している。

電動機や発電機を数多く使用する製鉄会社や電力会社などの産業界や、上下水道、ごみ処理などの施設においては、装置をいつも良い状態で運転できることが何にもまして重要なことになる。

同社は、これまでに蓄積した故障に関する豊富な知見と診断技術で、お客さまの事故原因を突き止めて最適な修理を実施し、事故の再発防止をはかるための保守方法の提案までも行うお客さまの立場に立った対応により、一部では「モーターのお医者さん」と呼ばれるまでの高い評価を受けている。

業界唯一の“絶縁診断システム”

同社は、一万件に及ぶ絶縁診断データと千件もの絶縁破壊実測データを基に、業界で唯一となる“CLiPS (クリップス)”と呼ぶ絶縁診断システムを実用化している。

企業概要	DATA
企業名	桑原電工 株式会社
代表者	野田 英治
所在地	北九州市八幡西区築地町10-20
TEL	093-621-6731
FAX	093-622-3265
資本金	1,500万円
創業	1945年
従業員数	170名
事業内容	電動機・発電機の製作・修理、検査・診断
URL	http://www.kuwaden.com/

CLiPSは、お客さまの回転機の推定破壊電圧値を算出、これに基づきその余寿命を推定することにより、最適な修理や保守を実現しようとするものであり、お客さまにとっては、突発故障の低減がはかれるとともに、保守・修理コストの低減につながるという大きなメリットがある。

一部の電力会社では、設備保全の社内標準としてこのシステムが採用されているほどで、その信頼性の高さがわかろうというものである。

回転機用電線製造ラインを有し、超短納期での高圧コイル製作と修理に対応

突然回転機械が故障し使用できなくなってしまったような場合、待たなしの対応が要求されるが、ここでも同社は抜きん出た対応を見せる。

絶縁破壊による突然の故障で高圧コイルの巻き替えが必要になるような場合、一般的な電動機メーカーの対応は、電線を購入するのに60日、巻き替えに80日と合計で140日もの日数が掛ってしまう。同社の場合、電線の製作に3日、巻き替えに11日と合わせて14日、一般的なメーカーの1/10の超短納期で対応できるため、顧客にとってはとてもありがたい存在になっている。

この驚くべき短納期対応の背景には、顧客満足を最優先する同社の機動的対応力と共に、回転機械の修理業界では唯一と言われる電線の製造から内製化し、高圧コイルを自社生産できる体制があることは言うまでもない。

設計・生産一貫体制により信頼性の高い回転機そのものの製作

同社が、創業以来70年技術の研鑽に注力してきた中で育んできたのが、回転機そのものの設計・製作である。とりわけ3,000kw以下の小水力発電機は、主な電力会社の製作認可を取得し、同社の主力事業の一つに育っている。

また、巻き線型誘導電動機は、大手メーカーの製品が長年の製品進化の中で小型コンパクト化してきた関係上、既設電動機との互換性がなくなり、顧客にとって大きな問題になっている。こうした中で当社は、顧客の既設の電動機と同一特性、同一寸法の製品を設計、製作対応し「電動機の駆け込み寺」として、顧客の高い満足を獲得している。

代表取締役社長
野田 英治 氏

2006年3月入社。同年10月 代表取締役就任。回転機メンテナンスの技術を通じて、お客様に安心と満足を提供し、産業界の発展に貢献するとともに、従業員の幸福を実現することを心がけた経営を実践。お客様の立場に立って、お客様と一緒に考え、お客様に最適なソリューションを提供するよう全社員とともに邁進している。

技術を重視し、全員が技術の研鑽に取り組む経営

こうした回転機に関する高度な技術は、「回転機メンテナンスの技術を通じてお客さまに安心と満足を提供し、産業界の発展に貢献すると共に、社員の幸福を実現する」という同社の経営理念、そしてその実現に向けた行動規範、「お客さまと一緒に考え、最適なソリューションを提供する」「お客様の信頼を得るに足る技術・技能の向上に努める」「すべての社員が、回転機のプロとして自己研鑽に努める」に沿って、企業戦略として“技術重視の経営”を組織的、計画的に進めてきた賜物であることは想像に難くない。

同社には、現在、設計技術者が20人、絶縁技術者が15人も在籍しており、桑原電工(株)は希少な“技術者を多数社員に抱える修理会社”と称してよいであろう。



直流機試験の作業風景

マーケティング
専門家の目

回転機械の心臓部である絶縁技術や巻き線技術をコアコンピタンス(中核競争能力)として磨き、他に類を見ない絶縁診断システムによる最適修理・保守の提案、電線からの内製化による超短納期のコイル巻き替え対応などで、客先がはっきりと他社との違いを認めてくれる高い顧客価値を提供している企業である。



桑原電工 株式会社

電動機・発電機の材料調達から製作、修理までの一貫したトータルソリューション提供

